

「専門人材の活用促進を担う組織による人材活用ノウハウの普及 及び特別免許状授与者等の環境整備について」

調査の概要

◆課題認識

- ・教員が外部と繋がり指導力向上するための専門人材活用のノウハウの普及が期待される
- ・学校に登用される外部の専門人材に対するフォローアップやメンターによる支援の在り方の検討が必要

◆調査研究の目的

- ・教員と専門人材との接続ノウハウを普及・継承する方策を検討し、教員の負担軽減と資質向上を目指す
- ・専門人材に対するフォローアップやメンターによる支援の在り方の調査研究を行い、優秀な人材を確保する

◆調査研究の方法

- ・外部の人材を活用した取組のノウハウを効果的に普及するための運用マニュアルを作成する
- ・専門人材を講師とした研修等における参加者の意見を聞きその効果と課題の把握を行う
- ・特別免許状授与者等の外国人教師が抱える問題等を解決するために必要な情報を収集する

◆調査対象とした取組

- ・ラウンドテーブルによる教員研修への外部支援
- ・国際バカロレア（IB）ワークショップの運営
- ・学社融合講座による外部との連携
- ・優秀な外国人教師の支援のためのFAQ作成
- ・外国人教師に対するメンターによる支援
- ・グループワーク指導資料を活用した教員研修

取組のポイント・成果

◆取組のポイント

①外部支援員を活用した研修等の運営

- ・研修実施に際し、教員以外の外部の支援を活用した運営を行い、外部の人材に協力を依頼する際に必要となる運営マニュアルの作成及び活用実践を行った。

②外国人教師に対する支援

- ・日本の教育現場での意識の違いや文化の違いによる困りの現状を把握し、その解決に向けた取組としてメンターとの懇談及びFAQの作成を行った。

③外部人材との接続ノウハウの蓄積

- ・市立高校コンシェルジュが各校からの外部との接続依頼に応えるほか、市立高校合同での教育活動や各校の特色ある教育活動の場面に出席、その活動内容の普及を図った。

◆成果

- ・研修の場面において、外部支援及び運営マニュアルの作成及び活用は、これまで避けられなかった一部の教員への負担を軽減し、研修の成果につながる可能性が見出せた。
- ・新たに赴任した外国人教師が日本で抱える困りを解消しやすいFAQが作成でき、優秀な人材確保につながるものとなった。
- ・ノウハウの普及の前提として、市立高校コンシェルジュの認知度を上げることが必須であることが考えられたが、徐々に認知度も向上し、ポータルサイト等による広報活動も効果を現し始めている。

今後の課題

◆外国人教師への支援

- ・本研究から外部からのメンターとなる人材を導入することの難しさがあることを把握でき、校内のことを熟知しているメンター教員の養成が必要である。